

会社概要

商号	株式会社IMAGICA GROUP (IMAGICA GROUP Inc.)
創立	1935年2月18日
本店所在地	東京都品川区
事務所所在地	〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目3番2号 内幸町東急ビル11階
資本金	33億600万2,543円
代表者	代表取締役会長 長瀬文男 代表取締役社長 布施信夫
従業員数	3,996名(1,254名)

※ 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に外数で記載しております。

株式の状況

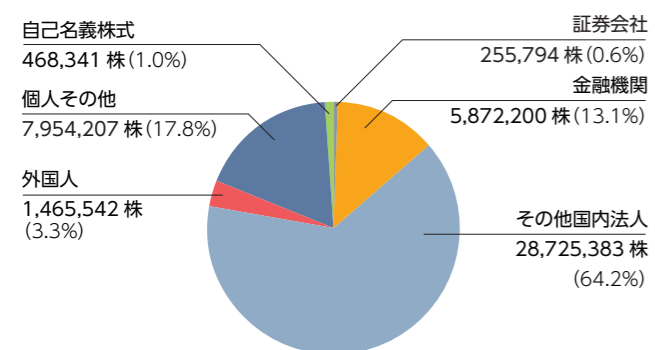
発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式総数	44,273,126 株 (自己株式468,341株を除く)
株主数	7,078名

大株主 (上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社クリアート	24,879	56.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,870	4.22
株式会社三井住友銀行	1,244	2.81
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	848	1.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	824	1.86
奥野敏聡	617	1.39
IMAGICA GROUP従業員持株会	554	1.25
三井住友信託銀行株式会社	512	1.15
INTERACTIVE BROKERS LLC	446	1.00
長瀬文男	406	0.91

※ 持株比率は自己株式数(468,341株)を控除して算出しております。

株式の分布状況



株式会社 IMAGICA GROUP

〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目3番2号 内幸町東急ビル11階
TEL: 03-6741-5750

役員 (2020年7月1日現在)

代表取締役会長	長瀬 文男
代表取締役社長 社長執行役員	布施 信夫
取締役 常務執行役員	森田 正和
取締役 執行役員	奥野 敏聡
社外取締役	村上 敦子
取締役 常勤監査等委員	安藤 潤
社外取締役 監査等委員	中内 重郎
	千葉 理
執行役員	加太 孝明
	大林 克己
	篠原 淳
	瀧水 隆
	長瀬 俊二郎

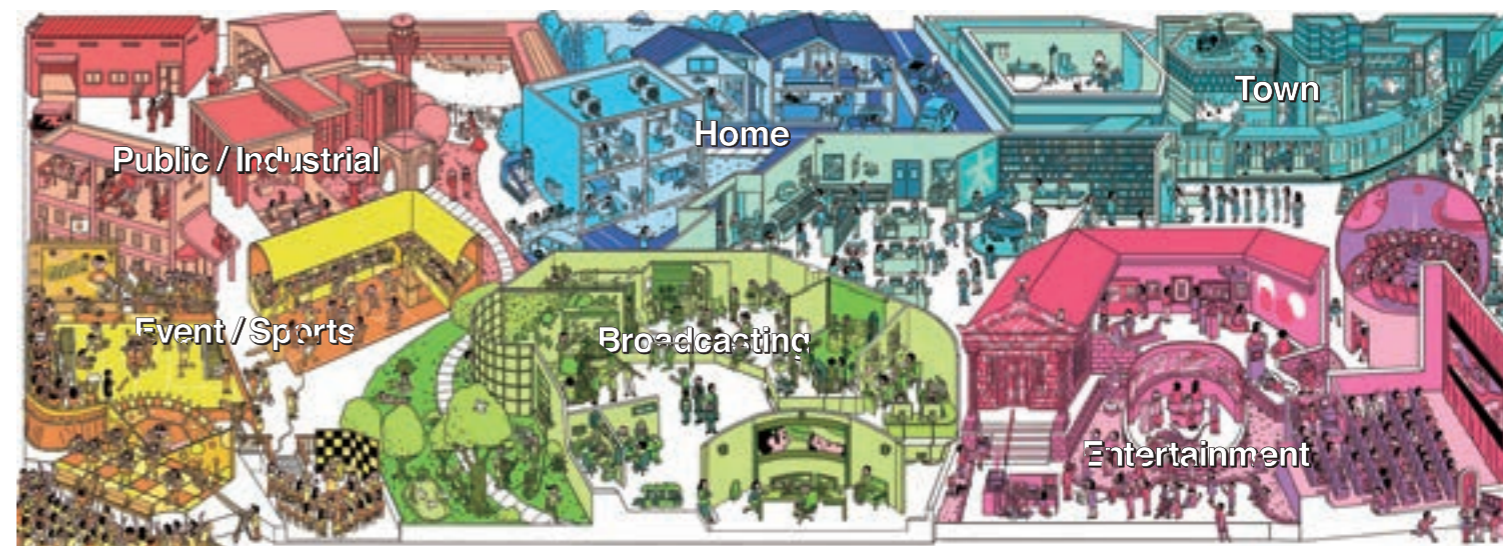
株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 0120-782-031(フリーダイヤル) https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	https://www.imagicagroup.co.jp/ir/announcement.html
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	6879



2020年3月期 株主通信

2019.4.1 ▶ 2020.3.31 | 証券コード6879



IMAGICA GROUP会社案内がリニューアルいたします。IMAGICA GROUPが提供する製品やサービスが活躍しているフィールドを街並みで表現しました。詳しくは、P6. INFORMATIONをご覧ください。



株式会社 IMAGICA GROUP

ご挨拶

株主、投資家の皆様におかれましては、日ごろより格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。この度の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に罹患された皆様および、感染拡大により困難な生活環境におられる皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

ここに株主通信をお届けし、2020年3月期の事業の概況についてご報告申し上げます。

株主、投資家の皆様におかれましては、引き続き、ご支援の程、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 布施 信夫



急速に進化する技術革新と社会環境の変化の中で
新中期経営戦略『総合力2021』の実現に向け
ビジネスモデルの転換と新規事業の創出を加速!

▶ 2020年3月期

2020年3月期における当社グループの業績についてご報告いたします。連結売上高は映像コンテンツ事業と映像システム事業が増収となり、全体では前年比4.3%増収の94億90百万円、営業利益はメディア・ローカライゼーション事業と映像システム事業が増益となり、前年比45.9%増益の13億51百万円となりました。

経常利益は営業外費用に為替差損並びに持分法による投資損失等を計上したことにより、前年比47.2%減の4億16百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産譲渡等による特別利益を計上したことなどから、前年比26億74百万円増益の6億64百万円となりました。

▶ 新中期経営戦略の実現に向けて

当社グループは、グループの構造改革を加速し、成長と収益性を伴ったバランスのとれた事業ポートフォリオの構築を目指し、2019年度より新中期経営戦略『総合力2021』を掲げ、以下の基本戦略の推進に取り組んでまいりました。

- ① 新たなグローバル戦略の構築
- ② 既存事業の収益力向上
- ③ 新たなビジネスモデルへの転換
- ④ 新規事業の創出と展開
- ⑤ 人材育成と働き方改革の推進

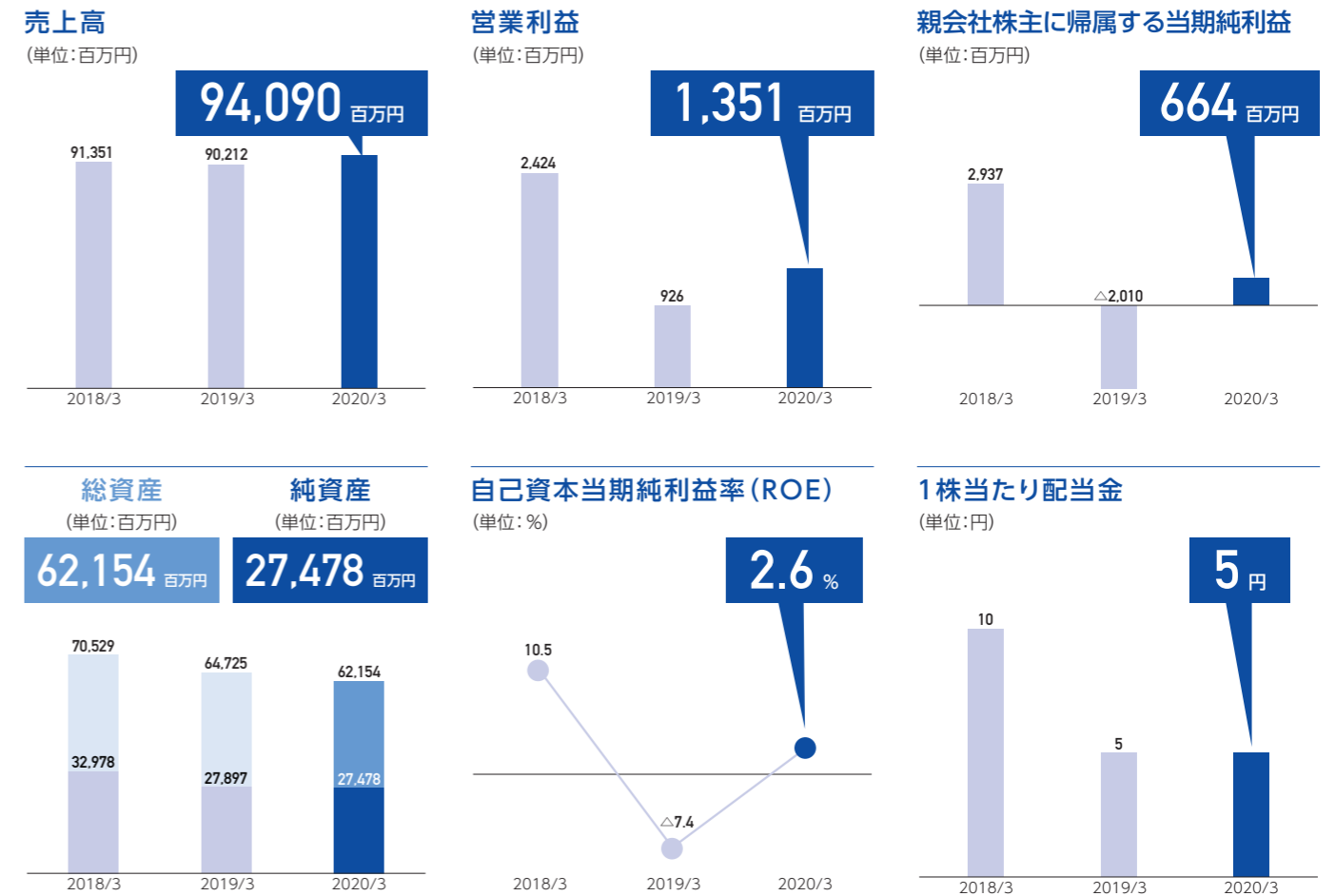
急速に進化する技術革新に加え、今般の新型コロナウイルス感染症拡大を背景とした社会環境の変化により、当社グループが軸足を置く映像関連事業においても大きな変革期を迎えています。

当社グループは、このような環境の変化をビジネスチャンスと捉え、“映像”による新しいエンタテインメントの提案、新しい生活様式に即した“映像”制作への挑戦、医療や教育分野などエンタテインメント分野にとらわれない“映像”活用など、ビジネスモデルの転換と新規事業の創出に取り組むことで、『総合力2021』の実現に向けた変革を加速してまいります。

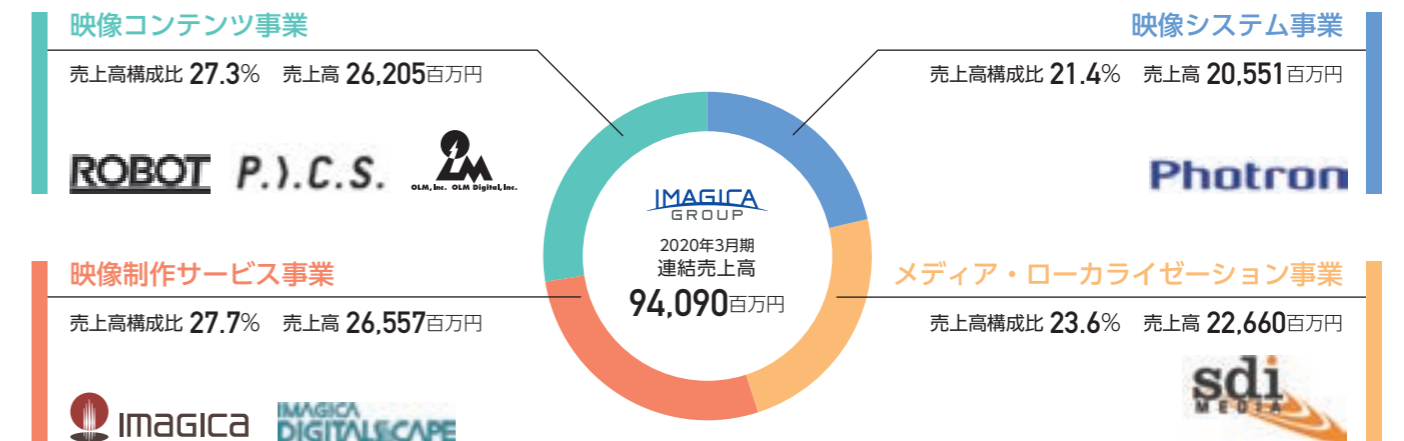
当社グループは、グローバルに映像コミュニケーションをお届けするOnly Oneのクリエイティブ&テクノロジー集団として、映像を軸に、エンタテインメント分野と産業分野の社会変革にも迅速かつ着実に対応し、加速度的に変化する技術革新と共に歩み、新たな映像事業の価値創出に挑戦し続けてまいります。

2020年3月期のポイント

- POINT 1** 売上高 | 映像コンテンツと映像システムは増収。全体では前年比4.3%の増収。
- POINT 2** 営業利益 | 映像システムとメディア・ローカライゼーションの2セグメントで増益。
- POINT 3** 親会社株主に帰属する当期純利益 | 固定資産譲渡等による特別利益を計上。



IMAGICA GROUP セグメント情報



※ 連結売上高94,090百万円は、事業セグメント売上高の合計額と連結調整額を含んでおります。また売上高構成比は、連結調整額を除く、事業セグメント売上高のみの合計に対する構成比率です。

01 日本国内におけるダビングスタジオ「IMAGICA SDI Studio」を設立、2020年2月より事業開始!

国内最大規模のポストプロダクションを展開するIMAGICA Lab.と、メディア・コンテンツ市場向け売上において世界最大規模のローカライズ事業者であるSDI Mediaにより、東京都内中心部にダビングスタジオを設立しました。両社の経験、知見やノウハウ、グローバルなネットワークを活かし、国内外のお客様へ、外国語映像コンテンツの日本語吹替制作サービスや日本語のアニメーション作品の音響制作サービスをご提供いたします。スタジオには、経験豊富なスタッフに加え、ハイエンドな機材を備えたミキシング作業も可能とするレコーディングルームを4部屋、ミキシング作業専用1部屋を新設して、既に多くの作品を手掛けています。



02 IMAGICA GROUP、P.I.C.S.がNTTドコモ「新体感ライブ CONNECT スペシャルイベント」に参画、未来型ライブビューイング[VISIONS]が好評を得ました



3月に実施されたNTTドコモの5Gを象徴するサービス「新体感ライブCONNECTスペシャルイベント」において、[VISIONS]が採用され、IMAGICA GROUPとP.I.C.S.が高臨場感ライブビューイングに参画。8K超高精細映像を活用した没入感体験による最先端ライブスペクタクル。巨大ワイドスクリーンとリアルタイム映像演出により、アーティストの世界観が空間へと拡張、新たな映像体験を提供しました。引き続き、コンテンツに最適化された新たな映像表現で、自由なフレーム、映像のキャンパス、空間による未来型ライブビューイングをデザインし、ご提案していきます。[VISIONS]は映像表現と先進技術を融合し、映像や空間を生かしたライブエンタテインメント。エンタテインメントの力で、豊かな未来を切り拓きます。

03 IMAGICA GROUP、グループ各社R&Dチーム 産学連携での共同研究が進行中 AI音声合成システム『バーチャル森田さん』を開発しました!

IMAGICA GROUPではグループ各社のR&Dと産学連携での共同研究を推進しています。例えば、ウェザーマップ、オー・エル・エム・デジタルと、東京大学大学院情報理工学系研究科 猿渡研究室 高道慎之助教授らの研究チームと連携し、お天気キャスター・森田正光の“声”をAI技術でリアルタイムに再現する、AI音声合成システム『バーチャル森田さん』を共同開発。TBSテレビ新春特別番組中、生放送で披露されました。将来的にはお天気キャスターの特徴を持った声で伝える地域別天気予報の自動生成や、声優の声色を用いた気象解説などへの展開を目指します。



04 フォトロン、ハイスピードカメラの新製品を続々開発、販売へ!!

2019年度のイメージング事業の売上高は過去最高を達成。3月には小型軽量密閉筐体でありながら超高速撮影性能を併せ持つ、ハイエンドモデル「FASTCAM Nova S16」を発売しました。昨年リリースしたマルチヘッド方式のハイスピードカメラ「FASTCAM MH6」は、欧州の自動車安全テストの新しい基準である「Far Side Test」に最も適したカメラと好評をいただいています。ほかにも、化学工業分野における食品や化粧品などの粘弾性を計測する画期的なソフトウェア「Stress Viewer」など、特定分野に特化した新技術も続々研究開発しています。“Niche But Top”を目指し、今後も最先端の製品を開発・販売していきます。



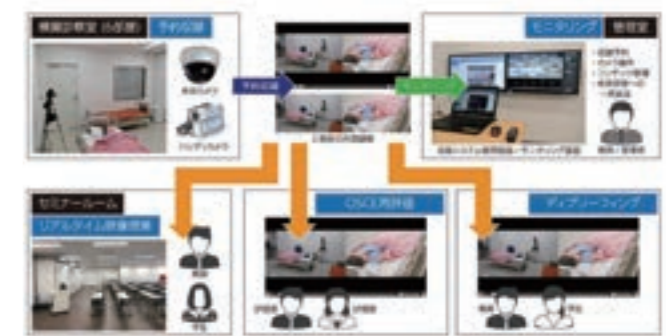
05 eスポーツでの映像演出にフォトン技術が使われています!



近年話題のeスポーツでのVR/AR映像演出に、放送分野で世界トップシェアを誇るリアルタイムグラフィックス演出システム「Vizrt」、カメラトラッキングシステム「TrackMen」が使われています。大会を盛り上げる大型ビジョン、配信されるストリーミング映像でゲーム画面・プレイヤーを見せるだけでなく、トッププレイヤーのスキル・ゲーム展開を、リアルタイムグラフィックスで分かりやすく、魅力的に演出し、観客や視聴者に、新たな驚きや感動を提供してまいります。

06 フォトン、講義／研修などの収録・配信ネットワークカメラシステム「Spider Rec」で授業や医療実習など教育現場を支援

フォトンの教育映像分野では、リモートでも学習を支援する環境を作り、「教育の質」向上に貢献しております。「Spider Rec」はネットワークカメラとHDMI-IPエンコーダで映像を取り込み、同期した状態で、最大4映像までを1つのコンテンツとして収録・再生が可能。PCを使用した講義の収録や、シミュレーターを使った実習等で、視聴者に伝わりやすい映像コンテンツを作成できます。カメラとエンコーダを各教室・実習室等に設置するだけで収録が可能のため、新たに高価な収録システムを導入するコストを低減できます。社会環境の変化やライフスタイルの多様化により、さらに引き合いが増え需要が高まっています。



東邦大学様での構成事例

07 ROBOT企画・制作の体験型エンタテインメント「さかなクンと秘密のラボ」サンシャイン水族館 特別展会場にて初イベントを開催



画家・イラストレーターとしても活躍するさかなクンが描くお魚のイラストと、ROBOTの企画・制作力、最新映像テクノロジーにより「体験型の展示空間の演出」と大パノラマの「海中探索VR」を通して楽しむ、超没入型ギャラリーが実現しました。

ROBOTは、映画・TVCM等の映像制作や映像テクノロジーとクリエイティブを融合させた革新的なサービスを提供し続けることで、これからも映像エンタテインメント業界の発展に貢献してまいります。

08 IMAGICA Lab. が 渋谷公園通りスタジオNEXT 8K編集室／22.2chMA室をオープン!

8K映像編集に特化した「渋谷公園通りスタジオ」の機能に、22.2ch対応のMA室を携えた新拠点として「渋谷公園通りスタジオNEXT」をオープンいたしました。IMAGICA Lab. では、これまでも多くの8K映像編集に対応してまいりましたが、映像はもとより、22.2ch対応のMA室を備えることで、8K放送のみならず、大型映像やパブリックビューイングなど、お客様のニーズにあわせた映像、音声ともに超現実(スーパーリアル)的な映像制作の環境をご提供してまいります。



09 イマジカ・ライヴ、AI技術によるJリーグ映像コンテンツのハイライト配信をスタート!



世界初となるライブ映像のクラウド型メディアセンターを設立・運営し、リアルタイム配信事業を手掛けるイマジカ・ライヴが、AIスポーツ映像技術のグローバルリーダーであるWSC SportsとJリーグメディアプロモーション(現:株式会社Jリーグ)との共同制作により、AIにより創出されるJリーグハイライト映像の配信サービスを開始しました。業界最高峰のAI技術を活用することにより、今まで以上にユーザーニーズに最適の映像コンテンツをご提供し、スポーツのみならず、あらゆる映像コンテンツと最新テクノロジーを掛け合わせ、世界中に最先端の映像を最速でお届けしてまいります。

10 イマジカデジタルスケープ「Infinite Pixel Viewer」を発売



イマジカデジタルスケープは「大容量の画像の表示が重い、高画質なデジタルコンテンツを展示したいが、開発コストが悩ましい」、このような課題を解決した新しいプレゼンテーションツールを独自開発いたしました。「Infinite Pixel Viewer」は通常モニタから8Kモニタまで、ギガピクセル級の画像をインタラクティブに高速表示が可能なビューアと、自由に解説文等を追加しながらコンテンツ制作ができるオーサリングツールが一体となっています。これら機能により、従来の個別開発による高額な費用や、長期間の開発を要する従来の手法を、革新するものと考えております。美術館、博物館、医療、教育現場において、ユーザー自身でコンテンツを制作することで、美術品の解説や資料の閲覧、分析・研究活動、教材利用など、様々な分野で利用できます。

11 イマジカデジタルスケープ、マスコミ・広告・ゲーム・映像・IT業界特化の就活・転職サイト「クリ博ナビ」を全面リニューアル

「クリ博ナビ」ではウェブサイトの全面リニューアルを実施しました。求職者側においては希望の仕事をより見つけやすくするための機能追加や改善を行い、採用する企業側には採用業務を効率化するための機能強化を行いました。2020年3月には、昨今の社会的な外的要因による就職・採用活動への急激な変化に対応し、Web上の動画による合同形式の説明会「オンライン会社説明会」を実施しました。



INFORMATION

IMAGICA GROUP 会社案内リニューアル

日常生活における様々な場面で、IMAGICA GROUP各社の製品やサービスが利用、活用されています。IMAGICA GROUPが手掛ける事業が一目で見てわかり、営業活動のみならず、採用活動にも活かせるよう、デザインを刷新いたしました。

